

# 鹿児島コグニ会・車体整備組合 見積研修会

ダイハツタント(LA610S)

右側面後部(内板骨格修理考察)

2023年8月19日



**cognivision**  
コグニビジョン株式会社

お客さまサポート部  
研修サポート課

## 指数テーブル マニュアル

2019年10月発行

株式会社自研センター

### 指数テーブルマニュアルまえがき

\*「指数」のご使用に当たっては、本書(指数テーブルマニュアル)で全車種に共通する標準的・基本的な各作業項目の条件や作業範囲等をご理解いただいた上で、対象車種の「指数テーブル」で車種固有の作業項目や作業範囲を確認いただき、ご使用してください。

\*「外板板金修正指数」「内板骨格修正指数」については車種共通となっておりますので、本書(指数テーブルマニュアル)記載の「車種共通編・指数テーブル」で使用方法をご確認いただき、ご使用ください。

\*なお、指数は参考資料であり、作業項目に記載された作業範囲、修理方法・手順などは、指数の前提条件として記載しているもので、作業方法などを指定あるいは強制するものではありません。

\*コグニセブンのヘルプ機能にほど網羅

## \* 前提条件

1. **工場**: 事故車市復元修理作業を行う一般的な整備工場で次のような設備・機器を備えた工場
  - ① 認証を受けるための設備基準に示された機械・設備機器の他、簡易ボデー修正機、ポートパワー、スポット溶接機、アーク溶接機、ガス溶接機など
  - ② メーカー修理書等で指定または推奨する工具(当該車両の当該作業を行う場合)
  - ③ 補修塗装指数においては指数テーブルマニュアル記載の補修塗装作業の概要に示す工具類
  - ④ 内板骨格修正指数においては車両を4点以上で固定し多点引きができるボデー修正機、リフト、修正機用エアーツールなど指数テーブルマニュアル記載の機器・工具類
2. **作業**: 脱着取替作業、外板钣金修正作業、内板骨格修正作業は**実務経験3年**程度、メカニカル作業は**3級整備士**程度の技能を持った者、補修塗装作業は**実務経験5年**程度または**金属塗装技能検定2級**程度の技能を持った者で、**当該作業について作業経験があり、作業手順、作業方法を理解している作業**者
3. **車両**: 1~2年使用(2~3万キロ走行)した車両で、**修復歴無く、汚れや錆び付きは軽度**の状態の車両
4. **部品**: **自動車メーカーから出荷された状態**のもので、補給形態は当該車両の指数作成当時のもの
5. **作業方法**: 原則として自動車メーカーの修理書に記載された作業方法と手順に則った作業を自動車メーカー指定または推奨する工具を使用して行う  
(ただし、自研センターにおいて安全確実な修理が可能でより合理的な作業が可能と判断した場合はその方法による)

## \* 指数使用上の留意点

1. **間接費用の取り扱い**

入庫・部品・作業待ち等の待ち時間や工場の朝夕の清掃、朝礼、教育などの間接時間は指数に含まれません
2. **構造や修理方法の確認およびやり直し作業の取り扱い**

初めての作業で慣れていない場合や適切な修理方法に関する事前の情報がない場合、作業方法の確認や、やり直し作業が発生する場合がありますが、指数ではこれらの時間は正味時間として取り扱っていません (正味作業時間: 作業エリア内で作業者が実際に部品脱着・取替作業をしている時間)
3. **材料代の取り扱い**

**脱着・取替や钣金作業時のパテ、サンドペーパー、シーラ、防錆剤補修塗装時の塗料、マスキングペーパー、研磨剤などの材料代は指数に含まれていません**
4. **作業範囲の考え方**

部品を取替場合、関連する他の部品も取り外さなければならないケースが頻繁に発生します。このため指数では該当する指数の範囲を明確にするため、作業の前提として「〇〇取り外し状態」や「〇〇を含む」という表現でその作業範囲を明確にしています。  
指数の使用に当たっては作業項目ごとの作業範囲を示した「指数テーブルマニュアル」や車種ごとの作業範囲を示した「指数テーブル」で作業範囲を十分確認した上で指数を適用していただく必要があります。
5. **脱着・取替指数における「相手部位正常」の考え方**

事故車の修理では損傷で変形した部品の取り外しや、変形した骨格部位を修正した後に新品部品を取り付けるといった作業が発生します。このため無損傷車の部品交換に比べて作業性が悪い場合があります。  
指数では部品取り外し作業においては**多少の変形や錆び付きによるボルト等の取り外しにくさは考慮**しています。また、新品部品の取り付け作業では**相手部位や隣接部品は寸法・形状などが正常に復元されていることを前提**にしています。

## 2. 指数の構成

### \* 基本指数

修正機により、内板骨格系寸法を復元修正する作業時間を対象にしています。具体的には①マウント・ディスマウント、②事前計測、③引き具取付および取外し、④骨格系寸法復元の4項目の作業工程から構成されており、指数値は一律3.5を設定しています。

<基本指数3.5>の内訳

<基本指数> 以下は前部損傷の内訳です。なお、後部損傷の内訳については、若干の違いはありますが、トータルの時間は、前部損傷と同じ3.5です。	3.5
①マウント・ディスマウント	0.9
②事前計測	0.6
③引き具取付・取外し ④寸法復元作業(含:作業中の計測・合わせ) *マウント・ディスマウントの固定する部分に発生するサイドシル等の修正。ただし、塗装時間は除きます。 *短時間で(空打ちを含めて15分程度)修正可能な修正作業は含まれます。なお、絞り・灸すえ・パテ作業は含まれません。	2.0

当該車両データ	
メーカー	ダイハツ
車名	タント・カスタム
ボデー形状	5DH/B
年式(初度)	平成年月
型式	DBA-LA610S
モデル型式	GBVF
車台番号	LA610S-0122754
グレード	X(4WD)
類別区分	17626
型式指定	0014
エンジン型式	KF-VE4
カラーコード	B79
トリムコード	YB10
装備 バリエーション	*スマートアシスト *スライドドア イージークローザー
見積もり条件 (範囲)	

### 見積作成条件

\*対象物(車両?固定物)の推察を行ってください。

\*見積範囲:右Rrドア、右クォーターパネルの取替は明らかなので除外します。

\*Rrサスペンションは直撃によりラテラルロッドが大きく曲がっています。

\*入力方向と着力高さを確認しましょう。

\*ヘルプ機能で鋼板の強度を確認してください。

\*小部品(クリップ、ブラケット類)の計上は必要ありません。

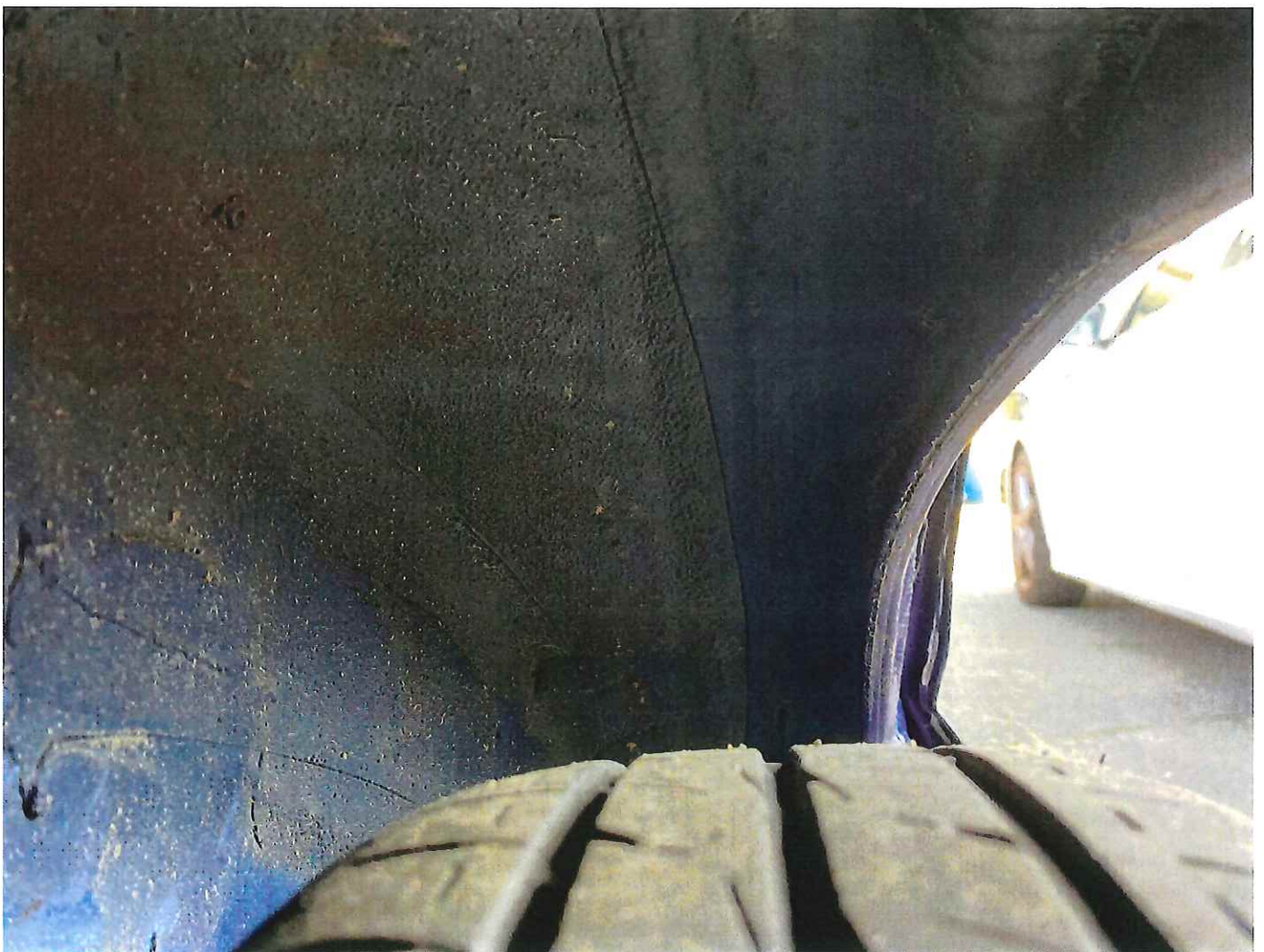
\***指数対応レートは¥6,000としますが、**作成後試しに¥6,500に対応単価を換えて計算してみてください。(工賃がどの程度換わるか?)

DAIHATSU MOTOR CO., LTD. JAPAN
TYPE DBA-LA610S-GBVF
CHASSIS No LA610S-0122754
ENGINE KF-VE4 658cc
COLOR B79 TRIM YB10
ENGINE No





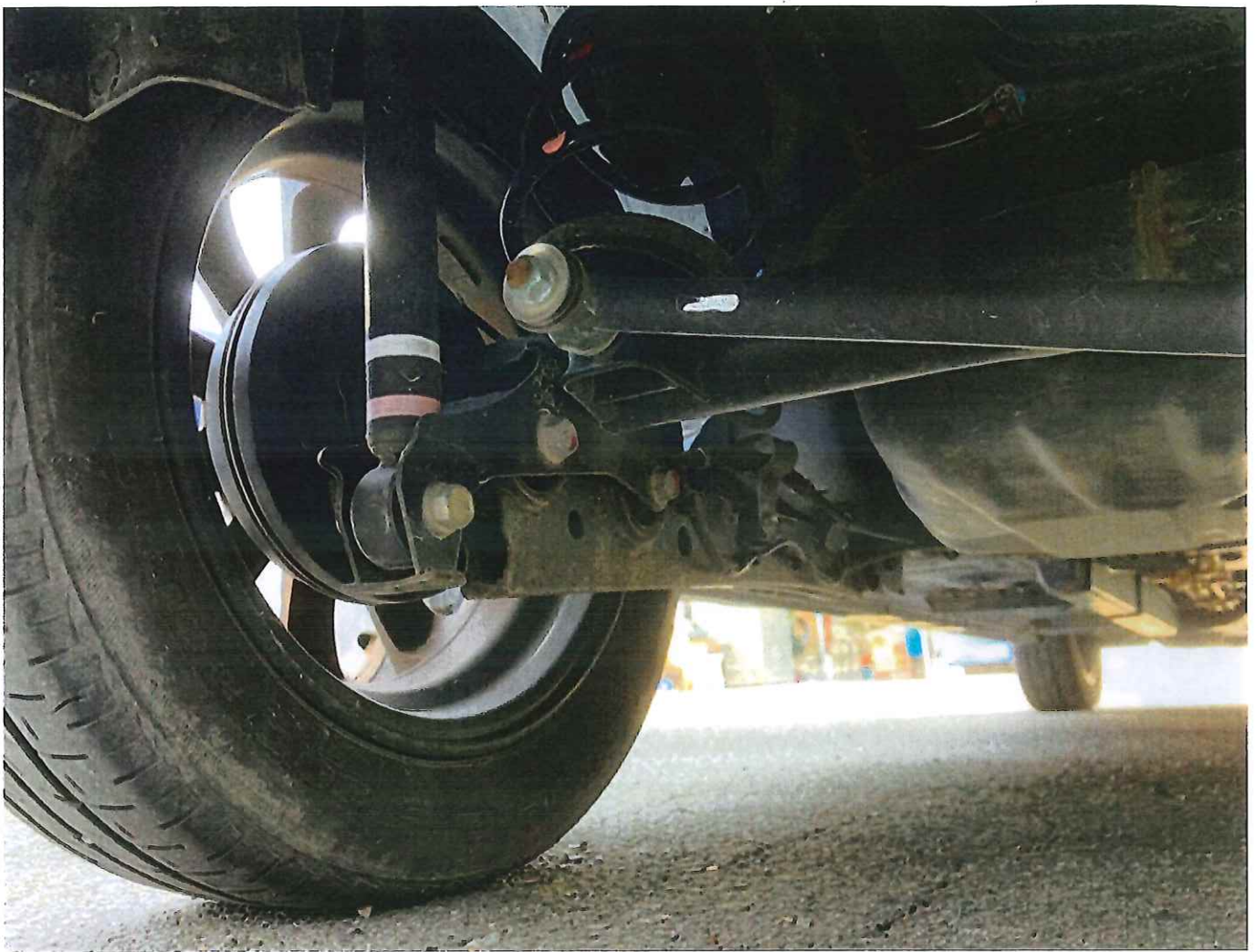












お疲れさまでした  
m( \_ \_ )m



**cognivision**

コグニビジョン株式会社